

いち・にの・さんしん



原三信病院 広報誌

July 2006 No. 16



(財)日本
医療機能評価
機構認定病院

病人のための病院

病院理念



病院基本方針

「質の高い医療」
「居心地の良い環境」
「心のこもったサービス」

作品：写真部提供（大末恭子「夏の色」）

患者様の

生活の質を高める為に

副看護部長 江上幸恵

名実共に高齢化社会に突入した日本では、生活習慣病およびこれに起因した認知症、寝たきり等の要介護状態になる人が急速に増加し、健康保険制度の財政的負担が大きくなり、医療制度の見直しが行われています。

その事により社会的入院の解消や在院日数の短縮は急速に進んでいます。高度な医療ケアが必要なまま後方施設あるいは在宅へと移行せざるを得ない患者様が増加しているのが現状です。在宅における質の高い看護を提供する為に当院訪問看護ステーション「おほはま」では在宅酸素、点滴療法など、より専門的な関わりを必要とする方、排尿障害、ストーマケアでお困りの患者様やご家族の方には適切な指導を行い、よりよい日常生活を送るためのお手伝いを行っております。また当院の医療連携室・医療相談室は病院や施設が変わっても継続して良質なケアを提供するため、患者様や御家族の相談を初めとし、地域の医療機関（香椎原病院、地域の回復期リハビリテーション病院、地域のケアマネージャー）等と連携を取りながら良い環境の中で治療が継続でき、患者様の生活の質を高められるように努力していきたくと考えています。



病院にゆくとす1

画期的な前立腺肥大症レーザー治療(PVP)を始めました!

前立腺肥大症になると尿が出にくくなったり、夜中に何度もトイレに起きるようになったりします。お薬で多くの方は改善しますが、いずれは手術が必要になることが多いと言われています。前立腺肥大症を根治して、勢いよく尿が出るようにできる唯一の方法が手術です。

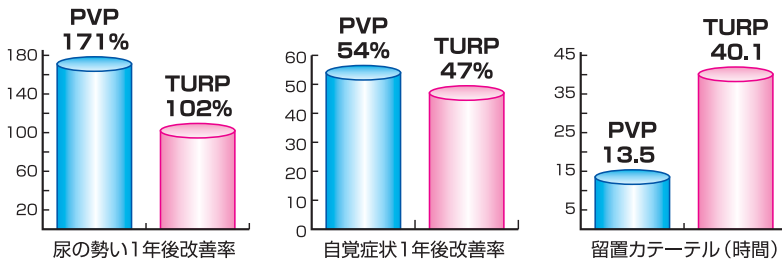
最も一般的な手術方法(TURP)は、尿道から内視鏡を使って電気メスで前立腺部分を切除するものです。しかし、少なからず出血があり、カテーテルを4日間前後留置します。カテーテルを抜いた後もしばらく排尿痛等が生じることがあります。

最近、KTPレーザーを用いた前立腺肥大症の手術(PVP)が、欧米で急速に広まっています。PVPは他のレーザー手術と比較しても、手術中の出血が非常に少なくより安全な手術です。翌日にはカテーテルが抜けて排尿が可能で、痛みもほとんどありません。ほとんどの方は2泊3日の入院で十分です。手術による排尿状態の改善はすぐれており、最も理想的な手術ともいえます。すでに、効果および安全性は多くの治療成績で証明されておりあります。

当院では、国内で3番目といち早くKTPレーザーを導入しました。しかし、日本では保険適用となっていないところが唯一の欠点です。入院・手術費用は通常315,000円(税込)です。また、手術前の諸検査に保険診療外で約4万円が別途必要となる場合があります。

さらに詳しいことをお聞きになりたい方は、泌尿器科外来職員にお尋ねください。

TURPとPVP成績の比較 (アメリカの報告)



副院長 山口 秋人

病院にゆくとす2

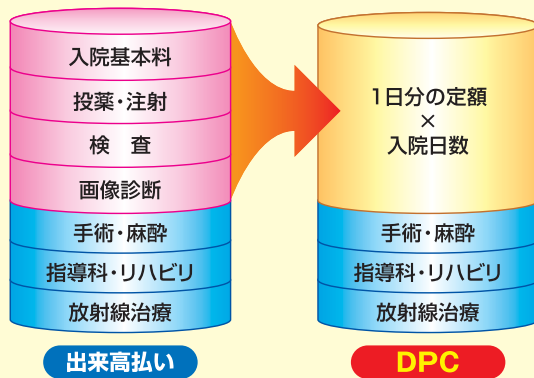
入院診療費の計算方法が変わりました

当院では、今年5月1日より入院診療費の計算方法が、これまでの「出来高」によるものから、「診断群分類別包括評価(以下DPCと称します)」へ変わりました。

DPCとは「Diagnosis Procedure Combination」の略で、「疾患」と「医療手技」の組み合わせ」と訳されています。このDPCは、当院を含む日本全国360施設(約19万床・一般病床の約20%)から厚生労働省に提出したデータを基に「病気ごと」に一日当たりの診療費を定めた」ものであり、病気によってはDPCが適用されないものもあります。なお、このDPCは平成16年より大学病院・旧国立病院の一部を対象にスタートし、徐々に対象医療機関が増え、今後も増加することが予想されます。

「病気ごと」に一日当たりの診療費を定めた」額のなかには、内服薬・外用薬・注射薬、検体検査、画像診断、入院料等が含まれていますが、手術・リハビリテーション・内視鏡検査・放射線治療などの専門的なものは従来どおりの「出来高」による計算となります。また、現在の保険証・老人医療等の取扱いおよび一部負担金の割合の変更はございません。また、DPCの対象は入院診療であり、外来診療については従来と変わりありません。

DPCについて、さらに詳しいことをお知りになりたい場合は、ご遠慮なく病院職員にお申し付け下さい。



医療情報課長 谷口 良

- 当院は、救急指定病院です。急患の患者様は救急外来にて24時間365日診察を行っています。
- 当院では医療機関の機能分担と地域連携を推進しています。従いまして、現在他の医療機関に受診中の方は紹介状をご持参下さいませようご協力お願いします。



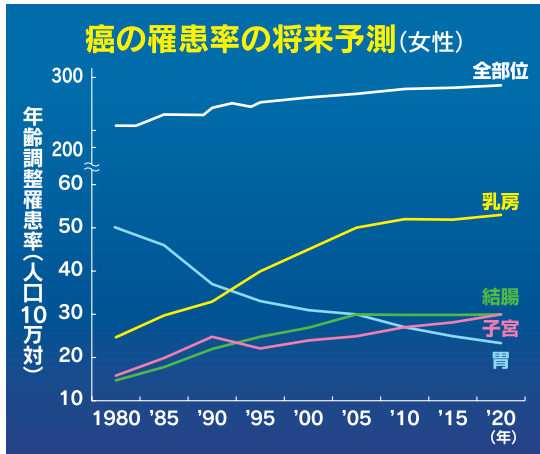
医療トピックス
 ～マンモグラフィ併用
 乳癌検診を受けましょう～

現在、日本では乳癌発生が急速に増加し、年間3万5千人以上(女性の25人に1人)が罹患、約1万人の方が亡くなっています。

乳癌死亡率は欧米では減少していますが、日本では逆に増加しています。その理由は、欧米ではマンモグラフィ併用検診の受検率が70%以上であるのに比べ、日本では20%以下と極めて少ないからです。

初期癌を見つける確率はマンモグラフィ併用検診で90%位に上昇します。40歳を過ぎたら必ず1～2年毎にマンモグラフィ併用検診(できれば乳腺エコーも)を受けられてください。マンモグラフィは痛いので受けない方が多いのも現状ですが、乳癌が転移した時の心労を思えば我慢できるはずですよ。

当院はマンモグラフィ検診の認定施設であり、2006年4月からは乳腺専門外来がスタートしました。検診から診断、治療まで幅広く対応しています。医師以外はすべて女性のスタッフですのでお気軽に受診されてください。



▲ 乳腺エコー



▲ マンモグラフィ

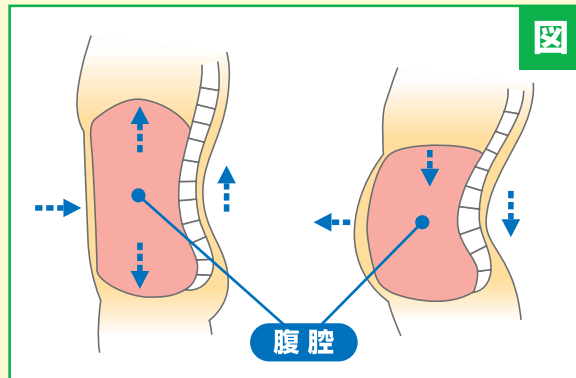
外科(日本乳癌学会認定医・専門医) 小川 尚洋

医学雑学講座

腰痛について ～整形外科編その②～

前回は「腰の安静」が重要という事を述べましたが、どうすれば腰の安静が保てるのでしょうか。それは第一には「寝て休む」ということです。しかし、誰もが痛い間ずっと寝て過ごすという訳にはいかず、仕事に行ったり、家事を行ったり、ということが必要な場合もあります。そういう時にはコルセットでいくらかでも腰の安静を保つ、という方法もあります。また腰痛の予防には「腹筋」の強化が必要とよく言われますが、コルセット装着や腹筋強化の原理はどういうものかを説明します。

図を見て下さい。腰の前には「腹腔」という風船のような閉鎖空間があります。右の図は通常の体重負荷がかかった状態ですが、コルセットで腹部を締める、もしくは腹筋を鍛えて筋緊張を高めると左の図のようになり、腰の骨にかかる直接的な重力負荷を減少させ、腰痛の治療、予防に重要となるのです。体重増加は腰への負荷を増すだけです。コルセットをすつと使用し続けることは腹筋や腰回りの筋肉を弱めることになるので、あまり推奨できません。腹筋の強化は自然のコルセットを体に備える、という意味で非常に重要なのです。



さて、次回は腰の病気としてポピュラーな腰椎椎間板ヘルニアについて説明します。

整形外科部長 高島 一雄



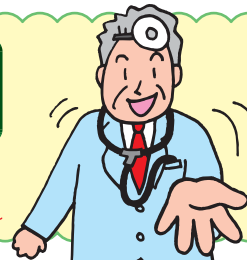
編集後記

当院では、2006年に新たな治療法及び専門外来を開設し、ますます多様な疾患に対する治療が可能となりました。常に病院は動き、新しい取り組みを行っています。

この広報誌に対する皆様のご意見も含め、意見箱などを通じお聞かせ頂ければ幸いです。

広報委員会 委員長 原 直彦

わが町のホームドクター



ホームドクターのご紹介をさせていただきます。私たちは、地域の先生方と協力して皆様のお役に立つよう努めています。
 どんなことでもホームドクターにご相談ください。 ※診療時間は各施設にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

施設名

萱島外科胃腸科クリニック



- 登録医 萱島 孝二
- 住所 福岡市中央区荒戸2丁目2-40
- 電話番号 092 (751) 6886
- 診療科 外科・胃腸科
- 診療日 月～土(土AMのみ)



施設名

朝日クリニック内科・皮膚科



- 登録医 栗原 彰
- 住所 福岡市博多区博多駅前2丁目1-1-4F
- 電話番号 092 (411) 2416
- 診療科 内科・皮膚科
- 診療日 お問合せ下さい



施設名

胃腸科藤クリニック



- 登録医 藤 洋吐
- 住所 福岡市中央区天神3丁目4-8 天神重松ビル5F
- 電話番号 092 (762) 1310
- 診療科 胃腸科・肛門科・外科・内科
- 診療日 お問合せ下さい



施設名

池田小児科内科クリニック



- 登録医 池田 整昭
- 住所 福岡市東区名島2-22-10
- 電話番号 092 (681) 0017
- 診療科 小児科・内科
- 診療日 お問合せください



施設名

関クリニック



- 登録医 関 雅彦
- 住所 福岡市東区箱崎5丁目11-10
- 電話番号 092 (632) 7111
- 診療科 呼吸器科・内科・アレルギー科
- 診療日 お問合せください



施設名

博多ビルクリニック



- 登録医 瀬戸山 浩
- 住所 福岡市博多区博多駅 中央街8-36 博多ビル2F
- 電話番号 092 (431) 8313
- 診療科 内科・健康診断
- 診療日 月～土(土AMのみ)



※ここで紹介する先生方は、当院の開放型病院制度(医院・クリニックの医師が当院において共同で診療ができる)の登録医になって頂いている先生です。

救急指定

原三信病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院



TEL ■ 092 (291) 3434
 FAX ■ 092 (291) 3424
 E-mail ■ info@harasanshin.or.jp

福岡市博多区大博町1-8



<http://www.harasanshin.or.jp>

●診療時間

月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
 土曜日 9:00～13:00

※日・祝祭日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。
 但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

●診療科目

総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・糖尿病科・リウマチ科・外科・
 血液内科・腎臓内科・脳神経内科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・産婦人科・
 放射線科・麻酔科・臨床病理科・歯科・人間ドック・睡眠呼吸障害センター